

令和 7 年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書
(令和 6 年度分)

大江町教育委員会

目次

I	大江町教育委員会事務事業の点検評価について・・・・・・・・・・	P1
	1. 制度の概要及び目的	
	2. 点検・評価の対象事業	
	3. 点検・評価の方法	
	4. 学識経験者の知見の活用	
II	教育委員会等の活動状況・・・・・・・・・・	P3
	1. 教育委員会の開催	
	2. 教育委員会協議会の開催	
	3. 会議以外の活動	
III	外部評価委員の意見・・・・・・・・・・	P5
IV	施策の体系（大江町教育振興計画）・・・・・・・・・・	P8
V	点検・評価調書一覧・・・・・・・・・・	P9
	【事務事業別点検・評価調書】	

I 大江町教育委員会事務事業の点検評価について

1 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価をおこない、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、この点検・評価をおこなうにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正を受け、大江町教育委員会では、効果的、効率的で開かれた教育行政の推進に資するため、平成 22 年度より前年度の事務事業について、3 名の外部評価委員（大江町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しています。

大江町教育委員会では、令和 2 年 9 月に「自己実現と共生をめざす 心豊かな人づくり」を理念とした大江町教育プラン（第 3 次大江町教育振興計画）を策定し、「共生教育の充実と生涯学習の推進」を基本目標に、「未来を切り拓く力を育む学校教育の推進」、「つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進」、「ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進」、「健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進」という 4 つの分野別目標を掲げ、相互に連携しながら各種教育施策の推進に努めております。

今回は、令和 6 年度におこなった主要な事務事業について点検・評価を実施するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価をおこない、その結果に対する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価をおこなうに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和 6 年度において教育委員会が所管し実施した主要な事業（25 事業）を対象として選定しました。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」・「効率性」及び「有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」・「継続」・「縮小」・「見直し」及び「休廃止」に区分し、点検・評価を行い「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会がおこなった点検・評価について、その客観性を確保するため、3 名の学識経験者を外部評価委員（大江町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容

についてご意見をいただくこととしています。

◇大江町教育事務評価委員

富 樫 雅 人、 伊 藤 学、 松 田 澄 子

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

開催日	議案番号	件名
4月18日	1	令和6年度大江町教育費予算(令和6年度一般会計補正予算第1号)に対する意見の申出について
5月31日	2	令和6年度大江町教育費予算(令和6年度一般会計補正予算第2号)に対する意見の申出について
7月30日	3 4	令和6年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 令和7年度使用小学校用教科用図書および令和7年度使用中学校用教科用図書の採択について
8月27日	5 6	令和6年度大江町教育事務事業点検・評価報告書(令和5年度分)について 大江町教育費予算(令和6年度一般会計補正予算(第3号))に対する意見の申出について
11月18日	7	大江町の学校のあり方検討委員会の答申について
11月26日	8	令和6年度大江町教育費予算(令和6年年度一般会計補正予算(第6号))に対する意見の申出について
2月25日	9 10 11	令和6年度大江町教育費予算(令和6年年度一般会計補正予算(第6号))に対する意見の申出について 令和6年度大江町教育費予算(令和6年度一般会計予算)に対する意見の申出について 大江町の施設使用料の免除期間の延長に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
3月6日	12 13	令和7年度大江町立小中学校教職員人事異動内申について 令和6年度大江町教育委員会表彰について
3月27日	14 15 16 17	大江町における部活動改革方針(案)について 令和7年度要保護・準要保護の児童生徒の認定について 令和7年度大江町教育委員会職員の人事異動について 大江町教育委員会事務局組織規則の一部改正について

2 教育委員会協議会の開催

開催回数 5回(7月9日、9月26日、10月29日、12月13日、1月16日)
内 容 教育長報告及び今後の日程などについて

3 会議以外の活動

(1) 学校訪問(令和6年度)

実施日	実施校	実施日	実施校
6月18日	藤田の丘分校	6月11日	本郷東小学校
7月5日	左沢小学校	7月9日	大江中学校

(2) 大江町総合教育会議の開催

日 時 12月13日 午後3時～

内 容 大江町の今後の学校のあり方について

(3) その他の主な活動

- 4月 8日 大江町小中学校入学式
- 28日 山形県縦断駅伝競走大会（大江町中継所通過）
- 5月17日 大江町小中高 PTA 連絡協議会総会
- 18日 ぷくらすカレッジ開講式・オープニング講座
- 25日 本郷東小学校運動会
- 26日 町民ソフトボール大会
- 31日 山形県市町村教育委員会協議会定例総会及び施設見学会
- 6月 1日 左沢小学校運動会
- 2日 あじさい手づくり工芸まつり
- 23日 舟唄健康マラソン大会
- 7月 4日 西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 8月 2日 山形県市町村教育委員大会（天童市）
- 14日 大江町二十歳祝賀式
- 10月11日 大江中学校躍動祭
- 13日 大江町ふらばーるバレー大会
- 25日～27日 大江町文化祭
- 11月 8日 大江町小中高 PTA 連絡協議会秋の研修協議会
- 9日 本郷東小学校学校創立150周年記念式典
- 10日 西村山地区駅伝競走大会
- 12月13日 大江町総合教育会議
- 2月 2日 町民つなひき大会
- 2月15日 オペラ公演
- 3月14日 大江中学校卒業式
- 16日 ひなまつりコンサート
- 18日 町内小学校卒業式

Ⅲ 外部評価委員の意見（令和6年度事業分）

1 教育委員会活動等全般について

- (1) コロナ禍が過ぎても、熱中症対策、義務教育学校創設に向けた取組、左沢高校の存続問題、教員不足、郷土芸能の存続問題等、教育委員会の守備範囲は広く、抱える課題は尽きない。しかも、ほとんどが即決できるものではなく、時間をかけ、人々の思いを十分くぐらせてやっと答えに辿り着くような代物ばかりである。しかし、諦めず、まっすぐ前を見てつき進んできた結果、成果と言えるものを数多く示しているのではないか。時にスピード感をもって、時にじっくり腰を据えて課題に立ち向かい、盤石な事業を展開したと考える。
- (2) 児童生徒数の減少に伴い、大江町の小中学校のあり方の検討がはじまりました。人数を増やすため、減らさないための策を講じることも大切だが、現状に真摯に向き合い、少人数ならではの良さを引き出せる新しい時代の学び、そしてそれを支える環境整備をお願いしたい。
また、大江町に育って良かった、大江町に戻って生活したいと思ってもらえるよう官民協力しあい現状を見極め、新しい時代に合う環境作りが必要と考える。

2 学校教育全般について

- (1) 共生郷育を掲げる以上、地域の人々との交流やそれによる生きた学習は欠かせない。
その中から、ふるさとを強く意識する心というものが醸成されていくのではないだろうか。大人になってふるさとを振り返る原点にもなる。特に重要視したい事業である。
学習活動が進化していけば、学級担任の負担が増えることになると思う。学習生活支援員のサポートが必要となる。誰一人取り残されない学びのために人員の確保に尽力いただきたい。
- (2) 児童数が減っていく中でも、いじめや不登校の割合は一定数あるのではないか。
Q-Uアンケートにより学級の実情を把握することで、いじめや不登校に関して改善傾向にあるということは一定の成果があったと評価できる。改善傾向にあるとはいえ、悩みや不安を抱えている児童生徒がいると考えられる。就学の機会が妨げられぬよう引き続き支援・援助をお願いしたい。
- (3) ICTを活用した学習が少しずつ定着してきている。さらにいろいろな学習に活用していただきたい。そのためにはWi-Fi環境を整えることも必要である。学習の妨げにならないよう、ストレスなく利用できるように整備をお願いしたい。
- (4) 「人生は選択肢の連続」であるならば、教育相談員など有用な選択肢を与えられる経験を踏んだ担任以外の教師が存在することは非常に大きな意味がある。ぜひ拡充を図っていきたいところだが、人材不足という課題がある。他地域との兼務という形でもいいから、何とか数を維持したいものである。
- (5) 各校舎の老朽化が顕著になっているようだが、危険校舎で生活させるわけにはいかないことから、必要な修繕工事はためらわずに対処していきたい。できるだけ無駄は省きたいところだが、安全性が最優先である。義務教育学校を創設するという一方で、修繕工事を先延ばしするということがないよ

うにお願いしたい。

(6) 近年の異常気象により夏のスクールバス運行はとても重要になると考える。継続的に取り組むにあたり、先生方の負担を軽減するような役割分担やシステムを早急に提案していく必要がある。また、ミスト装置の設置や日傘持参などの対応も必要となってくるかもしれない。猛暑日などに、児童の下校時間に、職員が実際に歩いてみて体感するという経験も大事かと思う。

(7) 給食に関して、食材費が高騰しているなか食材費を増額して対応しており評価できる。また、栄養士と調理師の工夫により堅実で、安心感のある対応はすばらしい。

学校給食において、様々なイベント給食があり子どもたちも毎日ワクワクしながら給食を楽しんでいる様子が伝わってくる。左沢高校のレシピ提案など、小中高の連携が取れるのは大江町の強みだと思う。今後も、生きる力の源となる充実した学校給食に取り組んでいただきたい。

(8) 令和6年度より、左沢高校支援に向けた協議会を立ち上げ様々な支援策を協議し具体的に進めていることは評価できる。検討している、芸工大への内部進学之道が開かれれば、さらにイメージアップに繋がることを期待したい。左沢高校の取り組みについても、山形新聞への投稿、総合的な探究の時間の最終発表会（そのための町民向けパンフの配布）、まちづくり座談会「JR左沢線利用」（広報掲載）、パンやジャムの開発（道の駅おおえとの連携事業）等、多方面で左沢高校生が生き生きと輝く場面を取り上げていた令和6年度でもあった。小中高の連携を活かしながら、引き続き魅力化、活性化に努めていただきたい。

また、私立高校進学が人気のなか学校自体が魅力や特徴を作っていく時代になっており、学校自体に何かしら特徴を持つことが大切である。

(9) 小6のGTECが中1のNRTに変更されたことは、関係性・統一性を重視したということで納得した。「あれもこれも」より「これだけは」をまずもって大事にしたい。

外国語授業の充実が図られており、外国の人との交流を通して国際理解が進んでいると思う。海外に興味を持つ子ども達も少なからず出てくるかと思うので、海外に出て見聞を広げ、大江町に戻っていただき、知識を生かして活躍していただきたい。

3 社会教育・歴史文化活動について

(1) 様々な事業を展開し、それが利用者の増加に繋がっている。町外からの参加も多く大変喜ばしいと感じる。

(2) 毎年同じことを繰り返すのではなく、少しずつ工夫を凝らして事業を展開しているのが頼もしく感じられる。多彩な体験教室を通して学びの選択肢を広げ大人との関わり、社会性・好奇心の向上が見られたという点において今の時代大変重要なポイントだと思う。今後の対応に示している通り、協働活動支援員・協働活動サポーター・青少年育成推進員の確保と養成にじっくりと取り組みたい。

(3) 中高生ボランティアサークル夢憧布（ポケット）の『勝手に』観光大使プロジェクト、とても良い活動だと思う。町内外の方に中高生の視点で大江町の良さをどんどん発信してってもらいたい。

(4) 少子高齢化と人口減少が進んだ上に、コロナ禍が重なって郷土芸能の活動を休止した団体が出てきたことを残念に思う。しかし、郷土芸能はその地域だからこそ根付いた芸能なので、地域に住む人がいなくなれば休止も止むを得ない。代わりに他地域で活動するわけにもいかない。有効な手立ても簡単に思い付かず、郷土芸能の存続はたいへん悩ましい。「小正月行事」の「雪中田植え」のように、人気のある「伝統食」(青苧御膳等)と抱き合わせで行って多くの参観者を得る。そのことで、関係団体のやりがいに結び付けるのはどうか。団体の方々と協力して映像で後世に残すこと等も検討していかなくてはならないと思う。

(5) 第1期整備が完了し、第2期整備への移行と堤防整備等の両立は大変ご苦勞をされていると思う。文化財は、町民ひとりひとりの大事な宝物です。今後も、町のため町民のために保存と活用にむけた調整を重ねていただきたい。

楯山公園内の樹木が伐採されたことで、公園内に光が差し込み明るくなった。最上川を見下ろす景観も素晴らしく駐車場も整備されて、公園へのアクセスも良くなった。是非大々的にPRしてほしい。

4 スポーツ振興活動全般について

(1) 以前の様なチームで参加という種目が難しくなっている中で、少人数、個人でも参加できる新しい種目のスポーツ大会を模索しなければならない。若い世代でも気兼ねなく参加できる魅力ある事業を提案してほしい。

(2) コロナ禍以降スポーツ事業への参加意欲が低下してしまったように感じられたが、少しずつ参加者が増えているようで安心しました。

ふらばーるバレー大会は若年層の参加が多かったとのことだが、どの世代でも楽しめるスポーツだと思う。今後も幅広い年齢層の参加が出来るよう大会を盛り上げていただきたい。

(3) 昨今の夏の暑さは尋常ではなく、天候による体調不良の懸念があり、舟唄健康マラソンの開催時期もしくは暑さ対策についてはもう少し検討が必要なのではないか。

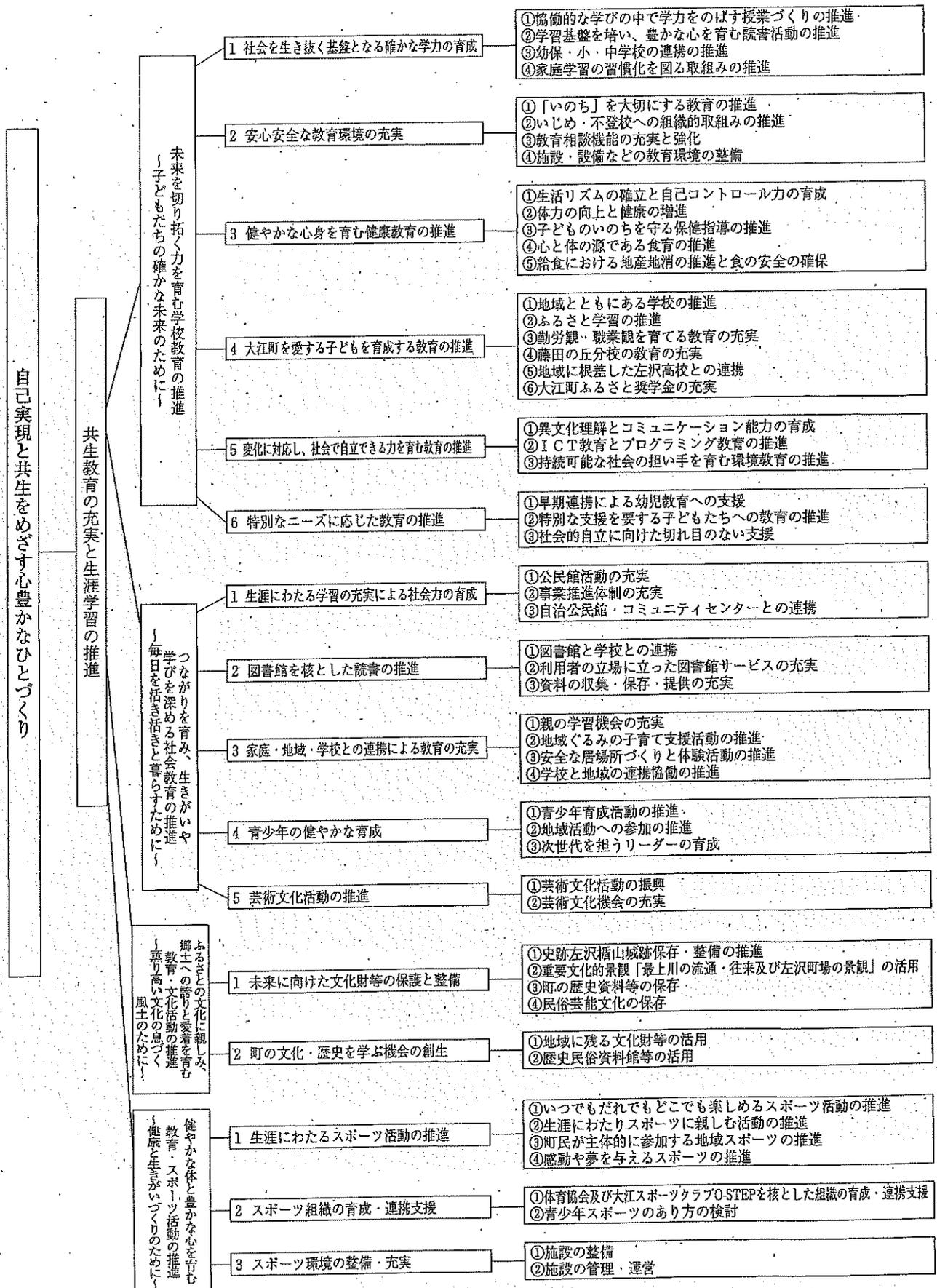
(4) スポーツ基本法の定めにより、大江町でもスポーツ推進委員として11名が委嘱され、その他にも数多くの体育協会の方がいます。部活動の地域移行において積極的にご協力いただきたい。

大江町教育プラン（第3次大江町教育振興計画） 体系図

理念 基本目標 分野別目標

施策

項目



令和6年度分 大江町教育事務事業点検・評価調書一覧

区分	施策体系	事務事業名	担当係	頁
未来を切拓く力を育む学校教育の推進	1-1-①	小中学校運営事業	学校教育係	10
	1-1-①	教育活動推進事業	同	11
	1-2-③	教育相談員配置事業	同	12
	1-2-④	小学校施設整備事業	同	13
	1-2-④	中学校施設整備事業	同	14
	1-2-④	スクールバス運行事業	同	15
	1-2-④	就学支援事業	同	16
	1-3-③	学校保健事業	同	17
	1-3-④・⑤	学校給食事業	同	18
	1-4-⑤	左沢高等学校支援事業	同	19
	1-4-⑥	大江町ふるさと奨学金事業	同	20
	1-5-①	国際理解推進事業	同	21
	1-6-②	学習生活自立支援事業	同	22
つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進	2-1-①、2-5-②	公民館管理運営事業	社会教育係	23
	2-1、2-3、2-4	生涯学習推進事業	同	24
	2-2-①～③	読書推進事業	同	25
	2-3-②～④	放課後子どもプラン推進事業	同	26
	2-3-②、2-4	青少年育成事業	同	27
	2-5-①・②	芸術文化振興事業	同	28
教育・文化活動の推進	3-1-③④ 3-2-①②	文化財保護事業	歴史文化係	29
	3-1-①	左沢楯山城跡保存整備事業	同	30
	3-1-②	文化的景観推進事業	同	31
	ツ活動の推進	4-1-①・③	スポーツ振興事業	スポーツ振興係
4-2-②		スポーツ団体育成事業	同	33
4-3-①・②		スポーツ環境整備事業	同	34

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校運営事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第1節 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 ①協働的な学びの中で学力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 2・3 小学校費、中学校費 1・2 学校運営費・教育費振興費

2. 事業の概要

事業目的	『主体的・協働的な探究型学習』が展開されるよう、各学校の取り組みを、物・人・指導方法等多方面で支援し、学習環境を整える。
事業内容	・学校運営に要する経常経費 ・教育に要する経費

3. 予算額・決算額

予算現額	58,820	決算額	54,334	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
学校の運営に係る経費 45,385千円 ※給食・学校医関係を除く (報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料、原材料、備品購入、負担金)				
教育振興に係る経費 8,949千円 (報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、備品購入、負担金)				

4. 事業の実施状況

左沢小学校 児童数201名 職員数28名 左沢小藤田の丘分校 児童数3名 職員数2名 大江中学校 生徒数169名 職員数29名 小学校計 男子172名 女子140名 合計312名	本郷東小学校 児童数109名 職員数19名 大江中藤田の丘分校 生徒数3名 職員数5名 中学校計 男子100名 女子72名 合計172名
--	--

5. 事業の評価

	評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ICTを活用した学習が少しずつ定着してきたり地域素材を活かした学習に取り組んだり、社会や地域のニーズに沿った学習が展開されている。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	必要性・緊急性・安全性等を考慮し優先度の高いものに対し支出することで効果を上げている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	各学校が予算の範囲内で効果的に執行しており、児童生徒の安定につながった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	「主体的・協働的な探究型学習」を展開するには、人的・物的な支援が必要である。また、共生郷育を具現化していくうえでも、地域人材と学校をつなぐこと大江町の地域環境を学習教材として活用していくことは重要で、この事業は継続して推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育活動推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第1節 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 ①協働的な学びの中で学力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	自他が互いに高まり合う共生教育の考えに基づいて、主体的・協働的な探究型学習、学習基盤を培い豊かな心を育む読書活動、幼保小中の連携、地域や家庭と連携した教育活動を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育センターを設置し、教職員の資質向上及び大江町全体の教育力向上にむけて講演会、研修会等を実施する。また、児童生徒の学力診断・知能検査を実施し、その分析を行う。 ・ 共生教育の研究や実践活動を支援する。

3. 予算額・決算額

予算現額	10,371	決算額	10,315	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
* 知能検査、NRT検査等 1,088千円 * 芸術鑑賞教室 400千円 * 図書購入 7,966千円 (内6,468千円は教師用指導書他)				
* 共生教育推進等(主に学校教育センター関係) 861千円				

4. 事業の実施状況

「学校教育センターの運営」	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上推進委員会 * 小2~中3 教研式NRTテスト実施 * 小2/4/6中2 知能検査実施 ・ * 小3~中3 Q-Uアンケート2回実施 ・ 所員全体研修、教育課題一般研修、共生教育推進、所員半日研修会(大江中学校授業研究会) ・ 芸術鑑賞教室開催、読書活動推進(図書購入) 	

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	NRT学力検査の実施により、学習に関する課題を把握し対応策を講じ、改善を図ることができた。また、Q-Uアンケートの実施により、学級の実情を客観的につかむことができ、学級づくりに役立っている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学級における学習面及び人間関係を含む生活面の実情を把握することで、学級の課題をつかみ改善を図ることができることから大変効果的であると評価している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	NRT学力検査の結果分析から各校での取り組みが明確になり、子どもたちの学力が高まっている。また、Q-Uアンケートから傾向をつかみ対応したことでいじめ及び不登校が改善傾向にある。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	いじめ・不登校に関して改善傾向にあるが、この対応は継続していかなければマイナスの方向に転じてしまう恐れがある。また、教育内容が多様化・複雑化している現状で多種多様な子どもたちを指導していくのは困難である。そんな中で、NRT学力検査やQ-Uアンケートによる現状把握が指導の方向性を示す重要な役割を果たすものである。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談員配置事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ③教育相談機能の充実と強化	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 教育相談費

2. 事業の概要

事業目的	心に悩みを抱える子どもを支援するため、教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みに対応できる体制を構築する。
事業内容	・ 教育相談員を配置し、各種相談への対応を行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,034	決算額	3,951	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 教育相談員配置		3,471千円(報酬等)	480千円(報償)

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談員の配置 <ul style="list-style-type: none"> * 小学校については各校月2回相談員が訪問し対応している * 中学校については常駐する会計年度任用職員を2名雇用し不登校生徒のための別室にて対応している

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	学校における相談の内容が複雑化・多様化している中で、教員の多忙化と併せ、じっくりと相談に耳を傾けることが難しくなっている。その対応として相談員の役割は必要不可欠となっている。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	継続的に相談にのったり助言を行ったりすることで、子どもたちの悩みに対応できている。実際に子どもたちが相談員を頼りにし効果を上げている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	相談をしたことで悩みを解消し、安心して学校生活を送れるようになったり、担任の負担軽減が図られ授業に集中することができたりしている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	悩みや不安を抱えている児童生徒は多くおり、いじめや不登校の問題が年々心配される昨今である。そんな中、充実した支援体制を確立するためには、人員を増やすか回数を増やすかして、教育相談体制を今以上に強化していく必要があると思われる。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 教育振興計画	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	学校施設の整備を図るとともに、学習に必要な物的環境の整備を推進する
事業内容	○小学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品などを順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	6,887	決算額	6,887	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○遊具修繕工事 185千円				
○本郷東小学校駐車場舗装修繕工事 1,078千円				
○本郷東小学校共同アンテナ受信増幅器交換等工事 847千円				

4. 事業の実施状況

	○各小学校遊具修繕工事 ○本郷東小学校 駐車場舗装修繕工事・共同アンテナ受信増幅器交換等工事 ○左沢小学校給食調理室給水管更新工事は翌年度に繰越
--	--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	計画的に、状況によっては緊急的に修繕・工事を行っているものの、施設の老朽化が進んでいるため、将来を見据えた大規模な修繕が必要であり、また施設用備品等を順次整備、更新し教育環境の充実を図る必要がある。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕と施設用備品の整備により、学習に必要な物的環境の整備を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により児童の教育環境の充実と向上、施設整備備品の整備により安心して学ぶ環境づくりに役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は児童の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、老朽化して不具合が生じる箇所については、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	学校施設の整備を図るとともに、学習に必要な物的環境の整備を推進する
事業内容	○中学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品などを順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	2,462	決算額	2,462	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○普通教室棟(学習室)屋上防水工事 385千円				
○防火シャッター修繕工事 574千円				
○2階渡り廊下すべり出し窓修繕工事 534千円 ○漏水調査委託 251千円				

4. 事業の実施状況

実施状況	○工事関係：普通教室棟(学習室)屋上防水工事、防火シャッター・2階渡り廊下すべり出し窓修繕工事 他 ○施設用備品 屋内消火栓設備ホース交換
-------------	--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	計画的に、状況によっては緊急的に修繕・工事を行っているものの、施設の老朽化が進んでいるため、将来を見据えた大規模な修繕が必要であり、また施設用備品等を順次整備、更新し教育環境の充実を図る必要がある。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕と施設用備品の整備により、学習に必要な物的環境の整備を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により生徒の教育環境の充実と向上、施設整備備品の整備により安心して学ぶ環境づくりに役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっているため、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。老朽化がひどいため、大規模な改修が必要である。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2・3 小・中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業内容	左沢小2台（用線、藤田線）※藤田線は令和4年7月から開始、業務委託により運行 本郷東小1台（柳川線） 大江中2台（用線、柳川線）※柳川線は業務委託により運行 児童生徒の登下校及び校外授業等での送迎
-------------	---

3. 予算額・決算額

予算現額	16,064	決算額	14,783	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考） 運転手報酬等6,528千円 燃料費1,829千円 修繕料2,000千円 車検時役務費198千円 消耗品費557千円 公課費78千円 光熱水費24千円 委託料3,569千円				

4. 事業の実施状況

児童生徒の利用者数（延べ人数）	
左沢小（用・小見・藤田線）69名＋夏バス41名＋学童利用児童、	本郷東小（柳川線）10名
大江中（柳川線）夏季6名・冬期6名、（用線）	夏季：6名・冬季：13名

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	スクールバスの一部停留所では冬期間の除雪をしなくて良いように場所の変更を行った。保護者からニーズのあった夏期間下校時熱中症対策として運行区域を拡大し対応した。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	登校時において学校の枠を超えたバスの運行体制の継続と、ルートによる配車を継続し効率的な運行ができています。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	直営運転手の学校の枠を超えた対応により、校外学習等でより柔軟な対応をするようにし、学校活動の充実に資することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	児童生徒の状況により随時運行体制の見直しが必要。また緊急時の対応なども考慮し、運転手の連携体制の構築をさらに進めていく。また夏期間の下校時の熱中症対策としてスクールバスの利用に継続的に取り組む。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10:教育費 2,3:小学校費, 中学校費 2:教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により就学困難な児童生徒の就学機会確保と、特別な支援を要する児童生徒の教育の振興。
事業内容	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍の児童生徒の保護者に対し、学用品や校外活動、給食費等に係る費用を支給し援助する。

3. 予算額・決算額

予算現額	2,715	決算額	2,523	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
要保護・準要保護児童生徒就学援助費 小学校1,104千円 中学校1,084千円 計2,188千円				
特別支援就学奨励費補助金 小学校240千円 中学校95千円 計335千円				

4. 事業の実施状況

要保護・準要保護児童生徒就学援助費の支給	対象児童生徒数	小学校26名	中学校12名	計38名
特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童生徒数	小学校13名	中学校2名	計15名

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	前年度に引き続き準要保護の対象者数は微増し、経済状況の低迷により就学に支援を要する保護者は多く、より必要性が増している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	経済的困難を理由に就学の機会が妨げられた児童生徒がいないのは本事業の成果である。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支給額についてはほとんどの項目で7~9割の補助となっており、給食費無償化等の他事業と併せて成果が得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	1人親世帯になったり、コロナの影響による減収など急に経済的困難な世帯になるケースがある。学校や健康福祉課との連携により迅速に認定し、就学困難な児童生徒を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 教育 振興計画	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第3節 健やかな心身を育む健康教育の推進 ③子どものいのちを守る保健指導の推進	予算 科目	10:教育費 項 1, 2, 3:教育総務、小学校、中学校 目 1, 2:事務局費、学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒・就学予定者及び教職員の健康管理・健康保持増進を図り、もって学校生活の充実を図る
事業内容	児童生徒及び教職員に各種検診等を実施し、健康状態を把握のうえ事後指導を行うとともに、感染症の予防に努める。また、学校生活を始めるまえに、予め就学前児童に対し健康診断を実施し心身の状況を把握する。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,380	決算額	4,334	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 児童生徒諸検診委託料 572千円 教職員健康診断委託料 717千円 健診器具滅菌業務委託料 138千円 各学校医薬剤師報酬・謝礼 2,760千円 就学時健診診察報償 147千円				

4. 事業の実施状況

1. 児童生徒分 (対象学年、実施者数)	
①内科・歯科・眼科検診 (全学年対象 479人)	②耳鼻科検診 (小学2・4・6年及び中学2年生対象+α 325人)
③心電図検査 (小学1年生及び中学1年生と要観察者 94人)	
④尿検査 (全学年2次検査含 500人)	⑤貧血検査 (小学6年生及び中学全学年 207人)
⑥結核検診精密検査(0人)	
2. 教職員分 (実施者数)	
①総合健診 (53人)	②胃がん検診 (25人)
③大腸がん検診 (35人)	④ストレスチェック (58人)
3. 就学時健診 (実施者数 36人)	
視力検査・聴力検査・ことば・耳鼻科検査・眼科検査・内科検査・歯科検診 ほか	

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	法定の諸検査・検診を行い、疾患の早期発見に努めることはもちろんのこと、児童生徒及び教職員が充実した学校生活を送れるよう、保健・衛生・安全面での取り組みが必要。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	新型コロナウイルス等の感染症対策として、学校では手指消毒や医師も手袋等を使用するなどし対応した。教職員のストレスケアも全員行われた。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	マスク着用、手洗いうがい、こまめな手指消毒といった日々の指導により、概ね健康的に児童生徒が学校生活を営んでいる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒及び教職員の健康管理と就学予定者の健康状況の把握のため、引き続き事業を実施する必要がある。 諸検査の結果に基づく事後指導や、学校保健委員会等での振り返りにより、諸検査の実施結果をより効果的に児童生徒の健康増進に生かすことができるよう取り組んでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第3節 健やかな心身を育む健康教育の推進 ④心と体の源である食育の推進 ⑤給食における地産地消の推進と食の安全の確保	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 2、3:小学校費、中学校費 3:教育活動推進費 1:学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために学校給食を実施する。また学校給食を通して食への関心を高め感謝の気持ちを育み、食育を推進していく。
事業内容	○小学校2校：自校調理方式による完全給食の実施 ○給食一部無償化の実施 ○中学校：民間委託による完全給食の実施 ○地産地消及び食育の推進 ○給食無償化の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	59,467	決算額	58,396	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 給食関係委託(小・中) 1,087千円 給食業務委託(中) 14,814千円 備品購入118千円 賄材料費代等36,184千円 臨時調理師報酬他(小)4,602千円 燃料費 913千円 給食関係消耗品等 678千円				

4. 事業の実施状況

1) 小学校：自校調理方式による完全給食(給食実施回数：左沢小188回、本郷東小189回)
○栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、学校栄養士や給食主任等が食と健康の保持・増進などの指導を行い栄養・食に関する正しい知識の普及に努めた。更には、食への関心の喚起、食事の重要性や食べ物を大切にすることの育成、食物の生産・調理等に関わる人々へ感謝する心の醸成、栄養・食事の摂り方の理解を深め自ら管理する力を身につけさせる、伝統文化への理解を深めることなど、食育を推進。
○地産地消への取り組み ○ふるさと給食(年10回) ○季節の献立(年20回) ○絆献立(年2回)
○献立作成会議(小学校、中学校各8回)、調理師研修会、給食主任会(2回)、給食運営委員会(2回)
2) 中学校：民間委託による完全給食の実施(給食実施回数：187回)
○栄養教諭が中心となって立てた栄養バランスのとれた献立に基づき、安全で安心な給食を提供。
○小学校と連携した献立の実施 ○令和4年7月から児童生徒の給食無償化

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	引き続き小中連携した献立の作成に取り組んでいる。給食だよりの発行、校内放送による食材の産地等紹介など、食育推進に向けた取り組みを実施した他、町のSNSで毎日の給食を紹介している。また、年間通して全学年の給食費の無償化を実施した他、食材の高騰化に対応するための支援も実施できた(令和6年12月10日～食材費を増額し対応した)。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学校給食法における学校給食の目標に則り、栄養バランス・伝統的な食文化への理解・食育等の面で食材補助を活用するなど適切な給食の実施ができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	地場産を使用したふるさと給食の実施など、食育の充実をはじめ、地元生産者の顔が見える安全で安心な給食が実現できている。今後は地場産品の使用量をもっと増やしていきたい。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小学校及び中学校の完全給食、ふるさと給食等の実施や地産地消への取り組みは今後も継続し、小・中が連携した食育の実践も引き続き取り組んでいく。また、安全安心な食の提供のため、食材の残留農薬検査や微生物検査についても継続して実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢高等学校支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第4節 大江町を愛する子どもを育成する教育の推進 ⑤地域に根差した左沢高校との連携	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	山形県立左沢高等学校の教育機能の充実及び存続に向けた各種支援事業
事業内容	JR左沢線を利用して通学する生徒に対し定期券購入の半額を助成し、左沢高校の活性化を図る。 就職や進学に資する資格又は免許を取得するための費用の半額を助成する。 左沢高校で生産した農産物を町内小・中学校給食へ提供。 左沢高校を支援する会への助成。

3. 予算額・決算額

予算現額	850	決算額	469	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)	左沢高校支援補助金(JR)16名 347千円、(資格取得)9名 20千円、左沢高校を支援する会負担金 100千円 農産物購入代 3千円			

4. 事業の実施状況

○定期券の半額助成事業 1学年6名(100,390円)、2学年5名(131,920円)、3学年5名(114,370円) 合計16名(346,680円)
○資格取得の半額助成事業 1学年1名(1,200円)、2学年4名(7,100円)、3学年4名(11,700円) 合計9名(20,000円)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	定期券・資格取得の半額助成については、高校へ通う家庭の負担軽減が図られる。左沢高校を支援する会負担金は、会員から集められた負担金により学校活動に有効に利用している。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	定期券の半額助成は、保護者からの問い合わせもあり効果を実感している。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	左沢高校で支援する会の負担金で学校パンフレットを作成し、学校へのPR強化を実施しているが、入学生は増加していない。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	左沢高校の存続に向け、関係機関と連携しながら支援事業を推進していく。左沢高校が魅力ある学校となるよう地域連携協議会を設置したので、魅力化、活性化策を検討し引き続き左沢高校の活動を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	国際理解推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第5節 変化に対応し、社会で自立できる力を育む教育の推進 ①異文化理解とコミュニケーション能力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	外国の人々との交流を通し、言語や文化に対する理解を深めることで、社会や経済のグローバル化に対応し、国際社会に貢献できる子どもの育成を目指し、環境整備に努めます。
事業内容	①外国語指導助手(ALT)配置事業 ②英語学習力強化事業

3. 予算額・決算額

予算現額	10,510	決算額	9,979	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 中学生国際理解教育研修費2,488円 外国語指導助手配置事業6,876千円(ALT分3,963千円、外国語指導員分2,913千円) 英語技能検定・GTEC受験手数料547千円 英検チャレンジ支援謝礼等25千円 英語活動事業謝礼40千円				

4. 事業の実施状況

①外国語指導助手配置事業：大江中：月、火 左沢小：水、金 本郷東小：火、木 藤田の丘分校に8回、にじいろ保育園に8回 ALTと外国語指導員の2名体制で英語学習を行った。学校での活動は、中学校では英語教諭の助手、小学校では、3・4年生が外国語活動として週1時間、5・6年生が外国語科として実施。 ②英語学習力強化 英語学習力を強化するため大江中3年生の英語技能検定受験料を負担。 大江中1年生のブリティッシュヒルズへの動機づけを目的としたオンラインレッスンの実施。 小学校6年生にスコア型4技能検定GTECの実施。 ③中学生国際理解教育研修 大江中2年生が福島県のブリティッシュヒルズにおいて泊2日の行程で一日英語で過ごす体験活動を行った。 ④小学校低学年英語活動 小1・小2に分けて会場を中央公民館にして、ハロウィンとクリスマスに合わせて英語を楽しむ活動を実施。
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ALTと外国語指導員が各学校規模に応じて、中学校英語科、小5・6の外国語科、小3・4の外国語活動の授業に入ることができ、また、にじいろ保育園にも派遣することができた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	ブリティッシュヒルズの中2の体験は、生徒の英語への関心・意欲を喚起することができた。また、小6実施のGTECの結果を、次年度に中学校に提供し、英語の授業に役立ててもらっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	ALTと外国語指導員の関わりにより、児童生徒の英語への関心や学習意欲が高まっている。小6のGTECの結果として昨年度同様に話す力・書く力が全国より高い成績であった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後も学びの連続性を意識し小中7年間の外国語授業の充実・小学校低学年の動機づけの充実を図っていく。また、小6実施のGTECについては、今後の比較分析の観点から、中一の春に実施するNRT(英語)に変更する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習生活自立支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第6節 特別なニーズに応じた教育の推進 ②特別な支援を要する子どもたちへの教育の推進	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 3:教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	特別な支援を要する児童生徒への対応や悩みを抱える子どもの自立支援に向けた個別支援の充実を図る。
事業内容	障がいや個別に支援が必要な児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな指導を行うため、学習生活支援員を配置する。

3. 予算額・決算額

予算現額	9,422	決算額	8,881	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	*学習生活支援員報酬他 8,881 (報酬7,338、期末手当775、勤勉手当561、旅費207) 千円			

4. 事業の実施状況

・学習生活支援員の配置	*配置校3校 *配置人数6名 (左沢小2名、本郷東小1名、大江中3名)
-------------	--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ひと学級の人数が多い場合、全ての児童生徒に対応するために学習支援員が学習サポートに入っている。また、小学校低学年や特別支援学級においては生活支援のためにサポートとして入っている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	個々に応じた学習支援ができるため、児童生徒は集中して学習に望むことができている。また、学校生活においても児童生徒と関わりをもっているため、児童生徒間のトラブルの未然回避につながっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	学習生活支援員がいることで児童生徒に目が届きやすくなっている。また、担任の業務負担軽減から担任の児童生徒への関わりに余裕が生まれている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	個別最適な学習が推進されていく中で、ICTを活用した学習活動等が今以上に活性化されていくことが予想される。また、多様性を尊重し、個々のニーズに対応していくことを考えると学級担任だけの対応では限界があるため、今後益々学習生活指導員の必要性は高まっていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	大江町ふるさと奨学金事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第4節 大江町を愛する子供を育成する教育の推進 ⑥大江町ふるさと奨学金の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により高等学校及び大学等での修学が困難な者の教育を受ける機会を拡充する
事業内容	高校生・大学生等の修学を支援するため、無利子で奨学金を貸与する。貸与額は、①高等学校及び高等専門学校に在学する者については年額20万円以内（募集人員：新入学生3名程度）、②大学・短期大学及び専修学校（専門課程）に在学する者については年額50万円以内（募集人員：新入学生5名程度）。奨学金を受けることができるのは、学校等における正規の就学期間とし、申請は一年毎に行うものとする。奨学金の返還は、卒業後6カ月を経過した月の翌月から、貸与を受けた奨学金総額により決められた期間内に行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	基金事業で運用	決算額	基金事業で運用	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考）令和6年度末基金総額 50,109千円		債権額34,026千円（貸与額累計71,528千円、返還額累計38,126千円） 令和6年度末現金残高 16,083千円（令和6年度利子7千円）		

4. 事業の実施状況

貸与者	大学(短大含)6名〔1年生×2名, その他学年×4名〕 高校1名〔1年生×1名, その他学年×0名〕	小計7名
貸与総額	200千円×1名 + 500千円×5名 + 432千円×1名 = 3,132千円	

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	無利子であることから、利用しやすい制度となっている。県と共同でおこなっている返還免除支援事業の利用等で返還の負担が軽減した奨学生もいる。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	制度創設から10年を経過し奨学金返還者が増えてきている。返還が滞る奨学生も少なく基金運用もうまくいっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支援を行った方が町内に居住し就職するケースもあり、地元回帰としての効果も見受けられる。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	制度が定着してきているといえる。町が県と一緒にいる地元就職による返還免除の支援事業もあり、今後は修学支援をさらに一歩進め、海外の大学への留学生も対象者に含める他、町独自の奨学金返還・教育ローン返済の支援を行うなど「地元回帰」につながるよう事業を実施していきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館管理運営事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2章 つなぐりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第1節 生涯にわたる学習の充実による社会力の育成 ①公民館活動の充実 ②事業推進体制の充実 第5節 芸術文化活動の推進 ②芸術文化機会の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進の施設としての役割が果たせるよう、中央公民館と町民ふれあい会館、克雪管理センターの管理運営を行う。
事業内容	効率的かつ適正な公民館の管理運営と、利用者ニーズに対応した施設や学習機材等の整備による利用促進を図る。

3. 予算額・決算額

予算現額	30,988	決算額	30,326	(単位：千円 千円未満四捨五入)
[中央公民館 13,059千円] 夜間及び休日の管理人配置 3,299千円、光熱水費外需用費 6,105千円、清掃外委託料 3,093千円 外 [町民ふれあい会館 16,750千円] 夜間及び休日の管理人配置 4,643千円、光熱水費外需用費 6,993千円、清掃外委託料 4,224千円 外 [克雪管理センター516千円] 光熱水費外需用費 158千円、管理等委託料 273千円 外				

4. 事業の実施状況

実施状況	夜間及び休日の管理人配置、清掃外業務委託 外
-------------	------------------------

5. 事業の評価

	評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	住民の多様な生涯学習活動の場として利用されている。また町内団体等の使用料を免除することにより利用率が高まり、生涯学習活動を活発にしている。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	効率的かつ適正な公民館の管理運営に努めるほか、施設設備の維持修繕及び更新は、優先度の高いものから実施している。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、様々な活動が活発になっているため施設利用も増加し、生涯学習推進の施設としての役割が果たされている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後も、利用者の安全と利便性を基本に「大江町公共施設個別施設計画」に基づき計画的な維持修繕及び更新、管理運営に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第1節 生涯にわたる学習の充実による社会力の育成 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ①親の学習機会の充実 第4節 青少年の健やかな育成 ③次世代を担うリーダーの育成	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進に向け、住民の主体的な活動を支援するため学びのきっかけづくりを行う。
事業内容	人生の各ステージにおける学びの場の設定と各種団体等の活動支援、生涯学習に関する情報提供。家庭教育に関する学習機会の提供。ALTを活用した英語学習機会の提供。イベントを通じた住民活動の発表機会の提供。

3. 予算額・決算額

予算現額	11,649	決算額	11,330	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
社会教育指導員の配置 1,991千円、講師謝礼等報償費 815千円、事業用消耗品費・食糧費 201千円、生涯学習カレンダー等印刷製本費 979千円、公民館総合補償制度加入保険料 172千円、演奏音楽会出演委託料 2,488千円、映画上映会時著作権使用料 289千円、文化祭共催事業負担金 500千円、山響負担金 87千円、おえ舟唄太鼓の会活動補助金 80千円、芸術文化団体協議会補助金 60千円、自治公民館整備費補助金 3,040千円 外				

4. 事業の実施状況

英会話講座 (9回、登録8人、延32人)、シルバー講座 (学習講座4回、館外研修1回、登録33人、延76人)、おらだのまち探訪 (5回、登録30人、延85人)、女子力アップ講座 (学習講座4回、館外研修1回、登録28人、延105人)、フリープラン講座 (16回、373人)、教育文化振興基金活用事業 (映画上映会1回、来場者211人)、生涯学習カレンダー・ぶくらすカレッジパンフレット・お知らせ版「生涯学習のひろば」を活用した情報提供、町民ふれあい会館ホワイエ展示 10団体、外

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	参加者による運営委員会を設置し、学習・交流の機会を求める町民のニーズを踏まえた内容の各種教室、講座を実施している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種教室、講座等については、参加者より参加料を負担していただき、効率的に開催している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	ぶくらすカレッジオープニング講座のコンサートへ多くの方に参加いただいた。全体的にみると参加者は増加しており、充実度は増したと考えられる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	H29年度開校した「おえ町民大学ぶくらすカレッジ」を生涯学習事業の柱ととらえ、その枠組みの中で成人・女性の学びのきっかけづくりとしての「おらだのまち探訪」「女子力アップ」などの講座、高齢者の学びの場としての「シルバー講座」、自らの学びの成果を地域へ還元する「縁joy講座」を継続実施する。 令和5年度から実施している国のデジタル活用支援推進事業を活用し開催した高齢者向けスマホ教室「スマホマスター教室」においても継続実施する。(R6 2グループ×5コマ→R7も同様※内容は別のものとする)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第2節 図書館を核とした読書の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計画			4 社会教育費
			3 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	読書に親しむことにより豊かな心を育み、より深く生きる力を身につけ地域社会に温かい絆を広げていくため、施設・蔵書・図書活動の充実を図る。
事業内容	図書購入、図書貸出返却等整理作業、企画展示（毎月）、レファレンス業務、おはなしボランティア活動（全13回）、図書館まつりの実施

3. 予算額・決算額

予算現額	11,035	決算額	10,781	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考） 図書館職員賃金 5,389千円、図書購入 1,513千円、雑誌購入等消耗品費 779千円、蔵書管理システム借上料 1,703千円、ボランティアサークル活動補助金 60千円 外				

4. 事業の実施状況

	図書購入 1,004冊・寄贈本登録冊数 323冊 R7.3月末現在図書蔵書数 33,045冊 図書貸出冊数 13,374冊（一般書7,792冊 児童書5,101冊 雑誌472冊 視聴覚資料（DVD等）9枚） 図書館利用者カード登録者数 2,427人 図書の整理と貸出、レファレンス業務（図書館会計年度任用職員3名） おはなし会の実施（12回、いとぐるま、毎月第4土曜日） こどもの読書週間推進イベント「春は図書館へ行こう！」209人（日本一くん、ぬりえ、本のおたのしみボックス） 図書館まつり2024 461人（無料映画上映会、スタンプカード、おすすめ本取寄せ祭、リサイクル市、ブックコート、日本一くん） ※リサイクル市はカウントなし
--	--

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の図書館に対するニーズに対応できるよう図書館協議会を設置し意見を反映させている。地域に根差した図書館として社会情勢の変化に対応し歴史や文化に関する資料も充実している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	一般書・児童書ともに計画的に購入を行うとともに、ボランティアによるおはなし会の実施や図書の整理等を行った。また、蔵書管理システムの導入により迅速な貸出返却の対応や、図書館のホームページ開設によりインターネットでの予約等を行っている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	蔵書管理システムの導入、蔵書の充実、図書の適正な整理などを実施し、利用者の利便性の向上を図っている。また、図書館を支援する団体「おおえ図書館倶楽部」の方々に協力いただき図書館まつりを実施するなど住民の関わりを得ることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者や図書館協議会委員等から意見をいただきながら、町民の学習要求に応えられる開かれた運営を目指し、多様化する町民のニーズに対応できる蔵書及び雑誌等の充実、レファレンスサービス、季節に合わせた企画展示等各年齢層に応じたさまざまなサービスを提供し、図書館に関わるボランティア団体等にもご協力をいただきながら、図書館をより身近に感じて足を運んでもらえるような事業を展開していく。子どもの読書活動推進に向け、県内図書館や児童生徒とその保護者等へ読書についての調査を実施する。 ※R8年度に調査結果をもとに、子どもの読書活動推進計画策定予定としている。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子どもプラン推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ②地域ぐるみの子育て支援活動の推進 ③安全な居場所づくりと体験活動の推進 ④学校と地域の連携協働の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	小学生の児童を対象に多彩な「体験教室」を行い、体験を通して子どもたちの豊かな情操、社会力を育む環境づくりを推進する。
事業内容	放課後や週末、夏季等学校長期休業中に、体験型の多彩な教室を開催する放課後子ども教室を実施し、町の将来を担う子ども達の豊かな情操、社会力を育む。

3. 予算額・決算額

予算現額	7,097	決算額	6,860	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
社会教育指導員等の配置 4,013千円、運営委員・協働活動支援員・協働活動サポーター報償 864千円、消耗品等需用費 580千円 外 ※補助対象経費 4,293千円に対して、国1/3、県1/3、計1,568千円の補助を受けて実施。 運営委員 9人、協働活動支援員 29人、協働活動サポーター 33人				

4. 事業の実施状況

手芸教室 (5回×2、延べ106人)、料理教室 (3回×2、延べ66人)、陶芸教室 (2回、延べ32人)、自然体験塾 (2回、延べ31人)、野外活動体験 (1回、10人)、書道教室 (38回、登録者79人、延べ1,996人)、出前教室 (3回、85人)、フラワーアレンジメント (2回、24人)、ボードゲームクラブ (5回、58人)、英会話教室 (30回、登録者15人、延べ404人)、(新規)うきうきジオラマ教室 (4回、13人)、(新規)生き物キッズラボ (4回、24人)
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	放課後の子ども達の学習の場として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	町民の方々から、持っている能力を活かした有償ボランティアの協働活動支援員、協働活動サポーターとして協力をいただき開催できている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多彩な教室を開催し、子ども達の学びの選択肢を広げると共に地域の大人と関わり合う中で、子ども達の社会性・好奇心の向上がみられた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休止
今後の対応	放課後子ども教室の実施にあたっては、協働活動支援員、協働活動サポーターの協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め、教室の内容も検討し新しい内容も取り入れながら今後も事業の充実を図りながら継続していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	青少年育成事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ②地域ぐるみの子育て支援活動の推進 第4節 青少年の健やかな育成	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	青少年の健全育成を促し、地域活動への参加を推進する。
事業内容	中高生を対象としたボランティア活動への支援、子ども会育成会連合会への支援、青少年健全育成事業への支援、成人式の実施 外

3. 予算額・決算額

予算現額	1,851	決算額	1,648	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
社会教育委員報酬(9名)243千円、青少年育成推進員報償(6名)70千円、20歳のつどい実行委員会報償319千円、子どもの居場所づくり事業報償541千円、社会教育連絡協議会負担金19千円、青少年育成町民会議運営補助金60千円 外 ※その他、青少年育成町民会議(青少年健全育成事業費・子ども会育成事業費・ボランティア育成事業費)より支出				

4. 事業の実施状況

中高生のボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」(中高生29名参加) …町内清掃活動。観光大使プロジェクト(町内7ヶ所) 子ども会育成会連合会事業…GOGOキャンプ、ハロウィン英語遊び(国際交流事業協同事業)・ハロウィンタルトケーキ作り 青少年健全育成事業への支援…青少年育成推進員の独自事業として、中学校卒業式時にフォトスポットを作成した。

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」の活動は、青少年の健全育成事業として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	事業費は、青少年育成町民会議の予算から支出し、青少年育成推進員や子ども会育成会役員の協力をいただきながら実施した。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	青少年育成推進員の独自事業の卒業式フォトスポットの設置が好評で来年度以降も行ってほしいとの声が多かった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」については、会員が楽しみながら事業を実施できるよう、また主体的な活動になるよう支援していく。 子ども会育成会連合会事業並びに青少年健全育成事業については、青少年育成推進員の協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め推進員の独自企画を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2編 施策の方針 第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第5節 芸術文化活動の推進	予算科目	10:教育費 04:社会教育費 02:公民館費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	文化事業の開催や芸術文化団体への支援により、町の芸術文化の振興を図る。
事業内容	教育文化振興基金活用事業、文化祭、芸術文化団体への支援

3. 予算額・決算額

予算現額	3,457	決算額	3,445	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 文化祭共催事業負担金 500千円、山形交響楽協会負担金 89千円、巡回県美展開催負担金 30千円 おおよ舟唄太鼓の会補助金 80千円、芸術文化団体協議会補助金 60千円、演奏音楽会出演委託料 2,488千円				

4. 事業の実施状況

演奏音楽会「ジェイコブ・コーラーピアノLIVE&specialセッション」:8月31日、ふれあい会館、328人の参観 文化祭:10月25日～27日の3日間、中央公民館・ふれあい会館、延べ1,543人の参観 音の文化祭(ひなまつりコンサート):3月16日、ふれあい会館、延べ371人の参観 芸術文化団体への支援として負担金補助金の交付(山響、舟唄太鼓の会、芸文協)を行った。 やまがたオペラ公演「コジ・ファン・トゥッテ」:2月15日、ふれあい会館、363人の参観※教育委員会が実行委員として参加
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	演奏音楽会や文化祭、音の文化祭(ひなまつりコンサート)の開催により多くの町民が参観し、芸術文化に触れる機会を設けることができた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	文化祭を通し、町民が芸術文化に触れる機会を得られた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多くの参観者に芸術文化を公開し、また、情報を発信することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化事業を引き続き開催していくとともに、芸術文化団体協議会の支援・育成を継続し芸術文化の振興を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ③町の歴史資料等の保存 / ④民俗芸能文化の保存 第2節町の文化・歴史を学ぶ機会の創生 ①地域に残る文化財等の活用 / ②歴史民俗資料館等の活用	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保護・活用及び郷土芸能継承団体への支援により町民の文化振興を図る。
事業内容	文化財の管理・活用 郷土芸能継承団体育成のための補助金交付、指定文化財管理のための謝礼の支払 町史編さん事業及び歴史的資料の収集及び保管、歴史民俗資料館の管理と活用事業の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	5,693	決算額	5,400	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主要事業費抜粋				
歴史編さん関係費用	2,119 千円	歴史民俗資料館管理関係費用	2,383 千円	
町史印刷費	396 千円	郷土芸能伝承補助金	250 千円	
指定文化財管理謝礼	80 千円	文化財保護事業費外	421 千円	

4. 事業の実施状況

町史第25号の発行、文化財保護委員会の開催(委員5名)、指定文化財補助金交付(県3件、町5件)、郷土芸能継承団体補助金交付(5団体：20→50千円へ増額)、町史編さん業務(町史編さん専門員1名) 歴史民俗資料館活用事業(入館利用者数・1,325人) 文化祭協賛行事 伝統食のつどい(10月26日開催、56名、参加費1,000円) 小正月行事 雪中田植の実演・伝統食(1月19日開催、53名、参加費1,000円) ひなまつり ひな人形の展示・麦茶の提供(3月29日・30日 175名)

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	郷土芸能伝承のための事業を実施する団体に対し補助し育成に取り組んだ。 町史編さん資料集25号を出版した。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存団体や指定文化財管理者への補助金等を交付することで、団体または管理者が保存、保護を行うことにより適正な伝承、管理が行われている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存経費の一部を補助することにより各種団体による保存・伝承をしていただいたが、コロナ禍を契機に活動休止団体も出てきている。指定文化財は管理者への謝礼支払により適正な管理が行われている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化財や伝統芸能は失くしてしまえば元に戻すことは容易なことではないため、今後とも新たな町指定物件の追加を含めた文化財の保護・活用を推進するとともに、町の歴史を知るうえで必要不可欠な資料を収集・保管し、町の歴史・文化を次世代に伝えていくこととする。 事業の実施については、伝統食のつどい・小正月行事について定員を超える申込があることから、定員を増やし対応をおこなった。今後とも入館者の増加を目指しサポーターの協力を得ながら事業展開をしていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢楯山城跡保存整備事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ①史跡左沢楯山城跡保存・整備の推進	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	史跡「左沢楯山城跡」の保存・整備及び利活用により町づくりに資する。
事業内容	・2期整備に係る寺屋敷上部曲輪の発掘調査、第1期整備に係るサイン設置工事及び測量等の実施。 ・第1期保存整備事業報告書の作成。 ・見晴らしを確保するため樹木伐採の実施。

3. 予算額・決算額

予算現額	16,929	決算額	15,965	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主要事業費抜粋				
保存整備検討委員会	140 千円	サイン設置工事費	6,747 千円	
樹木伐採業務委託料	1,188 千円	遺構数値化業務委託費	2,552 千円	
サイン設置工事監理費	770 千円	発掘調査時人夫手数料及び重機借上料	1,171 千円	
第1期保存整備事業報告書印刷費	1,518 千円	楯山公園維持管理費外	1,879 千円	

4. 事業の実施状況

保存整備検討委員会の開催(3回)、現地指導(2回)、普及啓発活動(楯山探検隊1回)、史跡保存管理(日常維持管理)、発掘調査(左沢楯山城跡関係)、サイン設置工事(2基)、サイン工事監理業務、遺構数値化業務、樹木伐採業務、第1期保存整備事業報告書作成等
--

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の誇りである国指定史跡「左沢楯山城跡」の今後の管理や整備を推進するため、第1期整備事業を推進した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	第1期整備事業としてサイン設置工事と樹木伐採業務を実施した。今年度で1期整備工事が完了、供用開始したことにより、より親しみやすい史跡となった。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	文化財として保護を図るため、保存管理計画に基づき適正な管理・活用を行った。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	楯山公園については、第1期整備事業が完了したことから、活用のPRを実施していきたい。第2期整備に向けて左沢楯山城跡保存整備検討委員会から指導や助言を得ながら、準備を行っていききたい。 また、百目木及び庵子沢の治水対策事業に係る試掘等の発掘業務が増加しているが、優先順位をつけながら業務を進めていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化的景観推進事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ②重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の活用	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	国の選定を受けた重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の保護と活用を図る。
事業内容	文化的景観事業を検討する、文化的景観保存整備検討委員会等の開催。「左沢の流通・往来及び左沢町場の景観」の保存活用を目的として重要な構成要素の高取家耐震設計や高取家の改修工事・サイン設置工事の実施。最上川・月布川の治水対策に関する現状変更等にかかる事業の調整。

3. 予算額・決算額

予算現額	18,666	決算額	18,100	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主要事業費抜粋				
保存整備検討委員会委員等報償	890 千円	高取家修繕工事	11,818 千円	
高取家修繕工事監理業務	924 千円	景観サイン整備工事(6基分)	2,530 千円	
高取家耐震工事設計委託料	539 千円	高取家維持管理費外	1,399 千円	

4. 事業の実施状況

文化的景観保存整備検討委員会の開催(4回)、土木部会(8回)、建築部会(6回)、治水対策打合せ(6回)、高取家修繕工事及び耐震設計、文化的景観サイン設置工事(6基)
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	日々の生活に根ざした身近な景観の文化的な価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へと継承していくことができる。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	町内に人を呼び込み、周遊を図ることを目的として、町内各地にサインの設置(6基)を実施した。また、文化的景観の重要な構成要素である高取家の修繕工事及び耐震設計を実施した。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	「最上川の流通・往来及び左沢の町場の景観」が、県内初となる国の重要文化的景観に選定され、事業を推進することにより、町内外に広く文化的景観の町であることをアピールできた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃その価値にはなかなか気づきにくいものである。国の重要文化的景観選定を受け、今後、これをどのようにまちづくりへと活かしていくか、町民の誇りと意識を高め、次世代へと継承していくことができるかを住民へ周知する必要がある。事業の具体的な進め方としては整備計画に基づく重要な構成要素(建築物)の保存整備と合わせて、サイン等(案内看板等)の整備を進めていきたい。 堤防整備やかわまちづくり計画策定に向けて、土木部会や打合せが急増しており、通常業務を圧迫しているが、安全・安心な暮らしと国選定文化財の保存を両立させるため、百目木と鹿子沢地区に係る治水対策について、重要文化的景観の価値を説明し理解を得ながら、関係部署と連携し対応していきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ振興事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第1節 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ①いつでもだれでもどこでも楽しめるスポーツ活動の推進 ②生涯にわたりスポーツに親しむ活動の推進	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費 1 体育振興全般に要する経費
教育振興計画	第2節 スポーツ組織の育成・連携支援 ①スポーツ協会及び0-STEPを核とした組織の育成・連携支援		

2. 事業の概要

事業目的	多様なニーズに対応できる体系を構築し、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ活動を推進する。
事業内容	ニュースポーツ及びレクリエーション活動の推進、駅伝及び剣道競技の強化支援 スポーツ協会の活性化、スポーツ大会の充実のための支援と加盟団体等の活動支援

3. 予算額・決算額

予算現額	6,154	決算額	6,042	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スポーツ推進委員報償費165 町スポーツ協会補助金4233 その他1306		社会体育推進員138 左沢高校剣道部育成補助金200		

4. 事業の実施状況

スポーツ推進委員11名委嘱、社会体育推進員55名委嘱、 町スポーツ協会（ソフトボール・マラソン・綱引き大会実施、ふらば一るバレー大会初開催、加盟団体大会は5団体が実施、3団体は中止）、左沢高校剣道部への支援
--

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	参加者の減少により大会開催ができていなかった町縦断駅伝に代わり、ふらば一るバレー大会を開催した。中学生のチームや若い世代の参加があり、新しい形でのスポーツ大会ができたと感じている。今後も気軽に参加しスポーツにふれられる機会を提供していく。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	コロナ禍前に比べればイベントへの参加人数はまだ少ないが、年々参加はしやすい状況になってきてはいる。新しいイベント（ふらば一るバレー大会）への参加が若年層が多かったことから、町駅伝からふらば一るバレーへ切り替えた成果があったと捉えている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	社会体育推進委員が毎年のように変わる現状の中で、大会参加の水準は維持できており、開催ができていなかった駅伝大会から、ふらば一るバレーに変わったことで、全体としては参加しやすい大会が増え、町民の運動の機会が一つ増えたのではないかと捉えている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	1人でも多くの町民がスポーツに親しめるようスポーツ推進委員や社会体育推進員の協力を仰ぎながら、イベント参加者の拡大、スポーツレクリエーション活動及び健康づくりと地域コミュニケーション活動の推進につなげていく。また、状況に応じイベント内容の見直しを図りながら、町民が参加しやすいイベントの開催を目指していく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	スポーツ団体育成事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係															
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第1節 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ③町民が主体的に参加する地域スポーツの推進 ④感動や夢を与えるスポーツの推進 第2節 スポーツ組織の育成・連携支援 ①スポーツ協会及び0-STEPを核とした組織の育成・連携支援 ②青少年スポーツのあり方の検討	予算科目	<table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>10</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>5</td> <td>保健体育費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>1</td> <td>保健体育総務費</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>2</td> <td>生涯スポーツ振興事業に要する経費</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>3</td> <td>スポーツ振興基金事業に要する経費</td> </tr> </table>	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	事業	2	生涯スポーツ振興事業に要する経費	事業	3	スポーツ振興基金事業に要する経費
款	10	教育費																
項	5	保健体育費																
目	1	保健体育総務費																
事業	2	生涯スポーツ振興事業に要する経費																
事業	3	スポーツ振興基金事業に要する経費																

2. 事業の概要

事業目的	優れた成績を取めた選手及び団体への支援、総合型地域スポーツクラブの活動支援をおこなう
事業内容	スポーツクラブ活動の支援 スポーツ振興基金を運用した競技団体の活性化事業 全国大会出場選手への激励金交付

3. 予算額・決算額

予算現額	3,246	決算額	2,999	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スキー教室講師謝礼118 0-STEP運営補助金2640		全国大会出場選手激励金140 競技団体等活性化補助金(青少年スポーツ団体振興事業補助金)28		

4. 事業の実施状況

総合型地域スポーツクラブ0-STEP事業	フィットネス、ヨガ、太極拳教室等通年教室が11教室、カヌー体験教室(中止)、スノートレーキングの計13教室を実施し、会員数は159名、延べ5001名 全国大会出場者(8名14件支援)へ激励金交付 小鳥山スキー教室開催 14名参加
----------------------	--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	総合型地域スポーツクラブ0-STEPの活動がスタートし13年目、町民の多様なニーズに応えるべく運営してきた。教育振興計画の達成、町民のスポーツ活動を推進するためには非常に重要な事業である。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	ニーズに合わせた教室の開催や運営体制を確保し、会員の増加に努めた。青少年のスポーツ活動の支援を行った。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	0-STEP事業では会員数及び教室への参加者も定着し、リピーターを増やし、各世代層の会員の確保に尽力してきた。町民の生涯スポーツ活動に大きく寄与していると捉えている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	健康志向が強まる中、スポーツへの関心が高まっていくことが想定される。様々なニーズに応えられるよう総合型地域スポーツクラブの活動へ引き続き支援を行い、町民が参加したいと思える各スポーツ教室を実施していく。また、部活動改革の流れもあり、スポーツ振興のあり方が問われている。生涯スポーツの観点からもできることを模索していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ環境整備事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第3節 スポーツ環境の整備・充実 ①施設の設備 ②施設の管理・運営	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 2 体育施設費 1 総合体育施設等管理運営に要する経費 2 多目的交流広場等管理に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	利用者が安全に利用できるよう老朽化した施設を整備していく
事業内容	計画的な施設の整備・修繕、利用者のニーズに即した施設の備品の更新

3. 予算額・決算額

予算現額	30,415	決算額	29,714	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
光熱水費8642		各保守点検・管理等委託料12696		
修繕料2035				

4. 事業の実施状況

町民プール管理監視委託、蛍水運動公園・森ノ宮公園管理委託、体育施設保守管理委託等 体育施設塗装業務委託 バレーボールネット購入、グラウンドならし購入
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民プール浄化槽修繕、総体施設漏水修繕、消防設備修繕等、またバレーボールネットの更新やグラウンドならしの購入により利用者の利便性の向上や安全対策を行った。その他の施設の維持管理について、快適に利用できるよう業者への委託を行った。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	老朽化した施設の修繕・更新を行い、利用者の安全性の確保、利便性の向上につながった。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	スキー場は何とか積雪が間に合いオープンすることができた。プールの利用者は増えており、その他体育施設も含め、概ね期待される効果は得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設の維持管理も含め、老朽化等に対する対応を適切に行いながら安全に社会体育施設を利用できるよう努める。 また、施設利用に係る利便性の向上の観点から施設の整備・修繕を今後も進めていきたい。

教育委員会事務事業点検・評価報告書（令和6年度分）

令和7年9月

大江町教育委員会 教育文化課

〒990-1163

山形県西村山郡大江町大字本郷丁 373 番地の 1

TEL : 0237-62-2270、3666（代表） FAX : 0237-62-3667